

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
第4回 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班
議事概要(案)

日時:令和3年12月24日(金) 13:00~14:30

場所:Webによる開催

主任 : 梅比良 正弘
主任代理 : 村上 誉
構成員 : 足立 朋子、石田 和人、伊藤 泰成、井原 伸之、大石 雅寿、
岸 博之、小橋 浩之、小林 佳和、斎藤 一賢、城田 雅一、
高田 仁、鷹取 泰司、中川 義克、中牟田 敏史、成清 善一、
成瀬 廣高、畠山 浩輝、菱倉 仁、藤本 昌彦、古川 英夫、
前田 規行、前原 朋実、三島 安博、柳下 勇一
事務局(総務省) : 宮澤 課長補佐、横出 主査

4 配布資料

議事次第_第4回

- 作業班4-1 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班(第3回)の議事概要(案)
- 作業班4-2 5.2GHz帯自動車内無線LANに関する報告書案に対する意見募集の結果
- 作業班4-3 6GHz帯周波数共用アドホックグループの検討状況
- 作業班4-4 I/N基準の扱いについて
- 作業班4-5 6GHz帯無線LAN作業班報告書(案)
- 作業班4-6 今後の検討スケジュールについて(案)
- 作業班参考1 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班構成員名簿

5 議事概要

- (1) 開会
- (2) 議事

- ① 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班(第3回)の議事概要の確認
事務局より資料「作業班4-1」に基づき説明が行われた。
- ② 5.2GHz帯自動車内無線LANに関する報告書案に対する意見募集の結果
事務局より資料「作業班4-2」に基づき、意見募集の結果と作業班の考え方(案)について説明が行われた。
- ③ 6GHz帯周波数アドホックグループの検討状況
事務局より資料「作業班4-3」に基づき説明が行われた。
資料中、混信保護を混信防止に改めるよう修正意見があった。
公共無線局の情報については、非開示の扱いにすべきとのコメントがあり、
AFCのデータベースの構築に関して議論が必要とのコメントがあった。

④ I/N基準の扱いについて

事務局より資料「作業班4-4」に基づき説明が行われた。

質疑において、5GHz帯無線LANの共用検討の際にも $I/N=-10\text{dB}$ を適用していることが確認された。

$I/N=-10\text{dB}$ の場合においても長時間干渉基準を適用した場合に、条件によっては満たさないといった結果も出ているため、運用面を含めた検討が必要とのコメントがあり、事務局から無線LAN側での更なる対策を講じるべく、深掘りの議論が必要との見解が示された。

⑤ 6GHz帯無線LANと既存無線システムとの共用条件の検討

電波技術協会より資料「作業班4-5」に基づき、現時点での検討の進捗報告について説明が行われ、以下のような議論を行った。

6GHz帯にはWi-Fi以外のシステムも共用可能であれば導入すべきとの意見があり、報告書にもその旨を記載することが確認された。

VLPの無線LANデバイスに関してはアンテナマイナスゲインを考慮してほしい旨意見があり、ARIB等にて専門家で議論し提案することとなった。

5925MHz以下の帯域でITSに関する議論があることにコメントがあり、無線LAN側ではガードバンド20MHzを確保しているが、どの程度隣接への漏えい電力の影響を勘案する必要があるか議論の必要性を確認した。

無線LANと他の無線システムの共用検討において、無線LANが与干渉となることを前提としているが、無線LANが被干渉となる場合の検討の必要性について質問があり、無線LANは周波数共用を前提として設計されており、既存システムからの影響は生じないように対応ができるとの説明があった。

無線LANから衛星通信システムへの干渉については、 $I/N=-13.5\text{dB}$ を適用することが確認された。

6875-7875MHz帯にグローバルスター衛星のダウンリンクがあり、現在国内で受信設備を設置する者はいないが、将来計画を考慮し、報告書に記載する方向で検討することとなった。

報告書案について、ITU勧告とレポートの表記が似ていて紛らわしいため、勧告(Rec)かレポート(Rep)か区別をするよう工夫することとなった。また、国内の周波数分配表に脚注分配の抜け落ちがあるため修正を行うこととなった。

⑥ 今後のスケジュールについて

事務局より、資料「作業班4-6」に基づき今後のスケジュールについて説明が行われた。

資料「作業班4-5」について修正を行い、1月下旬に次回作業班を開催する予定としている。

(3) 閉会